



学校を代表してプロジェクト・意見発表!



皆さんは「日本学校農業クラブ連盟 (FFJ)」という組織は知っていますか?

高等学校の農業に関する学科で学ぶ生徒たちが、未来の農業や関連産業の発展を目指し、農業に関する科目を中心に自発的・積極的に学習活動を行う組織です。通称「農業クラブ」や「農ク」と呼ばれています。生活科学科も北部農林高校で農業を学ぶ学科の一つとして、農業クラブ活動に日々、励んでいます。

5月に行われた校内学校農業クラブ発表大会で生活科学科3年生が「プロジェクト活動」と「意見発表」の学校代表となりました。そして、去った6月30日に県内農林高校6校が集まる沖縄県学校農業クラブ連盟大会 (FFO) に出場し、発表してきました。今回は、その大会の様子と結果についてお伝えします。



プロジェクト活動発表では、初めにこれまでの研究の流れやJAの職員の方との勉強会やシークワサー農家見学などを通して得たことを報告しました。それをもとに、シークワサーを「ちーるんこー」という琉球の伝統的な蒸し菓子に活用するためのレシピ開発や、普及活動として学校近隣の保育園との交流会を行ったことについて報告しました。



意見発表では、高校入学後にエコ部に入部し、補植や管理が必要なカンヒザクラを守る桜プロジェクトの活動や植樹活動を通して感じたこと、得たことを発表しました。桜を身近に感じてもらい、名護の桜の現状に少しでも興味・関心をもってもらうため、調理コースで学んだことも踏まえ、桜を使ったお菓子作りにも取り組んでいました。



プロジェクト活動発表・意見発表ともに、自分たちがこれまで取り組んできたことや体験したことに、生活科学科で学んだ専門的な内容も取り入れた素晴らしい発表でした。発表した3年生の皆さん、お疲れ様でした。

審査結果は意見発表をした3年生の坂元さんが、沖縄県代表として九州大会に派遣されることが決定しました。おめでとうございます。九州大会でも頑張ってくださいね!

